

早稲田大学が古太田川の調査をしました！

2023年3月
早稲田大学 景観デザイン研究室

はじめに：研究室について

早稲田大学・社会環境工学科・景観デザイン研究室は、主に、景観まちづくり、土木構造物のデザインについて研究をしています。2017年から、福島潟とその周辺で他大学とも連携しながら研究をしています。

古太田川とのかかわり

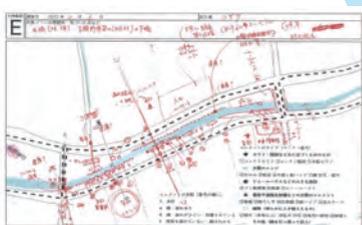
2021年12月6日 福島潟周辺の巡見に集落を発見！
他の集落と違う魅力に惹かれる！
以来、2022年3月・6月・7月にも訪問し、調査することを決意！
2022年10月 本格調査準備のために資料をさがしているときに、ウェブサイトで新潟市に出された陳情書を発見！
2022年11月 第1回調査&区長さんたちと面会
2023年2月 研究チームと来訪、区長さんたちへ調査結果の報告

調査ではこういうことをしました

第1回調査日程：
2022年11月5日～8日
調査範囲：
古太田川沿岸約2km
調査方法：
実測・文献・ヒアリングなど
調査メンバー：
学生5名



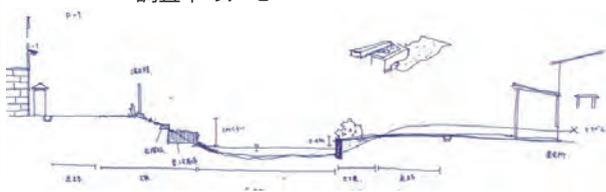
色々と測ったり…



調査中のメモ



区長さんからお話を聞いたり…



調査中の断面図のスケッチ

第1回調査の結果から、私たちの思う古太田川の「ステキ」を7つにまとめました！



2月に訪問した研究メンバーの意見：

- ・今の日本で護岸が土のままなのはすごい！
- ・地形的にも面白い！
- ・昔の様子を知りたい
- ・水辺はいろいろ使えそう！
- ・福島潟とのつながりを考えたい！
- ・思い思いの使い方をしているのがいい！
- ・地域の暮らしの蓄積がある
- ・明るい源兵衛川だ！



研究チームの調査のようす

古太田川のこれからを考えるために

福島潟周辺の範囲の分析からも、ここがとても貴重な場所であることがわかりました。一方、区長さんなどの話から、高齢化により、護岸の管理が難しくなっていることもわかりました。しかし、日本中どこにもあるようなコンクリート張りになってしまったら、もったいない！
どうしたらこの「ステキ」を継承できるのか。それを地域のみならずとっしょに楽しく考えていけたらと思っています。たとえば…

古太田川のステキをつないでいくために 一緒にやってみませんか

昨年の調査では、カワドや護岸、川の断面など、外側から見えるものの調査を行いました。次に私たちが知りたいのは、地域みなさんが古太田川をどのように使っていたのか、どんな思い出があるのか、川の好きなところや、維持のための苦労は…などなどです。そうしたことを、以下のような方法を楽しみながら取り組んでいけたらと考えています。

① むかしの写真を見ながらお話会

4月ごろ?

古太田川が映っているお写真はありますか？

家族写真を外で撮影したとき、お祭りの時に撮った写真など…。地域みなさまに持ち寄っていただいた写真を基にして、むかしの川の使い方、川での思い出などを聞かせていただけませんか。

② 川辺で気持ちよく過ごす

5月ごろ?

暖かくなってきたら、川辺にベンチやテーブルを並べて、お茶会をしてみませんか？

古太田川を眺めながら、おいしいご飯や飲み物を持ち寄って、川が近くにある暮らしの豊かさを一緒に体験してみたいです。

お話をする中で、これから川で出来そうなことのアイディアも見つかるかも。

≡≡≡ ほかの地域での取り組み事例紹介 ≡≡≡



昔の使い方を調べる・語る
- 滋賀県伊庭町 -



水路の上でゆったり過ごす
- 佐賀県佐賀市 -



川床を設置しお花見
- 栃木県宇都宮市 -